

令和8年度 第1回貝塚市地域公共交通活性化協議会協議運賃部会議事録

日 時	令和8年6月3日（水）14時～
場 所	貝塚市役所3階 公房会議室B
出席者	委員6人
会 議 次 第	1. 開会 2. 案件 議案1 「は～もに～ばす」を利用できる1日フリー乗車券の新設 3. その他 4. 閉会

1. 開会

2. 報告

議案1 「は～もに～ばす」を利用できる1日フリー乗車券の新設

事務局：（説明）

委員F：約20年前、約2,000万円位の収入と、市の福祉予算からの補助金でコミュニティバスの運行を開始した。しかし、残念ながら現在の売り上げを申しあげると、800万円位で半分以下になっており、市民のご利用が極端に減ってきている状況です。特に山手で運行している黄色バスが問題になっており、委員の皆様からご意見をいただいておりますが、これが不要であるとは至っておりません。

そこで、このままにしておくのではなく、より多くの方に発信をし、周辺の方により多く乗っていただきたいところからスタートしたのが今回の1日フリー乗車券の新設であります。現在、この黄バスは、市外からハイキング等に来られた方もご利用になりますので、さらに多く来ていただくというのが目的です。もちろん、市民や市外からの方のニーズに答えるのは鉄道でございますが、バスも同様でございます。皆様の同意をいただきましたら、「コスモスライナー」、「水間鉄道」、「は～もに～ばす」、全てフリー券で1日お乗りいただけるチケットを発行するものでございます。

もう一点、価格は据え置かしていただいて、サービスだけ追加するということですが、それに乗ってどこへ行きたいのか、どこへ行くべきなのか、こういった発信が非常に重要です。今後は、発信源を広めて、まずは一人でも多くの方にご利用いただけるようにしていくのも我々の使命と考えています。

委員E：片側だけの利用で1,060円の半額という設定はあるのか？

委員F：電車に乗っても、バスに持っても、また、降りて又乗ったとしても、1,060円という料金設定になります。何度も乗り降りしていただくことが可能です。黄バスは手を上げると止まってくれる。それも今後活かしていきたいと考えている。

委員B：要するに、その1日乗車券があるだけで、コスモスライナーに乗っても電車に乗っても、「は～もに～ばす」のどこの線に乗っても1日乗り放題ということですか？

委員F：その通りです。

委員B：乗車券は駅員さんとか乗務員さんに見せればよいのですか？

委員F：その通りです。

委員E：インターネットで何か発信されるのですか。

委員F：今日、ご承認いただきましたら、この内容といつから運行するかについて、ホームページやSNSに併せて紹介したいと考えています。

委員E：YouTubeを使うということは考えられていますか

委員F：今のところはありませんが、今後、他の話題とあわせて取り上げていただいたり、テレビ等にも載せていただければと考えています。

委員B：テレビ取材を受けるのはバスじゃなく鉄道の方がメインでしょうか。

委員F：鉄道がメインになるかと思われます。テレビ取材が増えているので、そういったものも有効活用していきたいと考えています。

委員E：今回の1日券も使ってもらえそうな感じがしますね。

委員F：そう思っています。地域公共交通には2つの目的があって、1つは、地域の方々や交通弱者の方々のため。この使命だけでバスも鉄道も成り立たない時代でもありますので、継続するために何をするかという、地域以外の観光の方であるとか海外の方とかに使っていただいて事業継続するというのも1つのパターンと考えています。

委員D：新設に対する意見募集に対しては、市民等からの意見が無かったということですが、どこで閲覧できる場所を作っておられたのでしょうか。また、閲覧する時には、質問をするための資料を一緒に置いて閲覧するようにしたのでしょうか。

事務局：閲覧の方は、浜手公民館、山手公民会、都市計画課の窓口意見募集内容を冊子にまとめたものを配置しました。質問は、自由様式で記入いただき、ご自身の氏名、住所、連絡先等を併せて記載いただくこととしました。

委員D：そのファイルだと見にくいところがあるので、今後は目立つような写真とかフリー乗車券の見本を貼ったりとかしてはどうでしょうか？

そうすれば、今まで以上に利用する方が増えてくると思います。

事務局：できるだけ皆さんに周知できる手段をいろいろな方面から検討してまいります。

委員B：私とかは貝塚市外から来ている者ですが、こういう1日フリー乗車券を買うとなった時には、多分、「は～もに～ばす」とかの沿線に施設や目的地がないと使わないのかなと思ったりするのですが、何か目的地となるような場所があったりするのでしょうか？

委員F：日本遺産に認定された葛城修験道、それから柵谷、大川、木積といった農業地区があります。その他に、お寺回り、山村回り、農業関連の巡礼、営農体験など、山手ならではの発信、魅力が数点あります。これをいかに線で結ぶかということも地域公共交通の責任であると思っています。

議長：ほかにご意見・ご質問はございませんか。

ないようですので、事務局の説明のとおり、議案1について承認することにご異議ございませんでしょうか。

（委員全員、異議なしの声）

異議がないようですので、【議案1】「「は～もに～ばす」を利用できる1日フリー乗車券の新設」については、承認されました。

以上をもちまして、本日の議事は終了いたしました。

（閉会）